



技術提案にあたっての基本的な考え方

- 1 万全の環境保全対策**

 - 公害防止性能に優れた信頼性の高い処理システムを採用し、排ガス基準を遵守します。
 - 多段階の基準値設定・安定化対策で排ガス要監視基準を遵守します。
- 2 ごみの安全かつ安定的な処理**

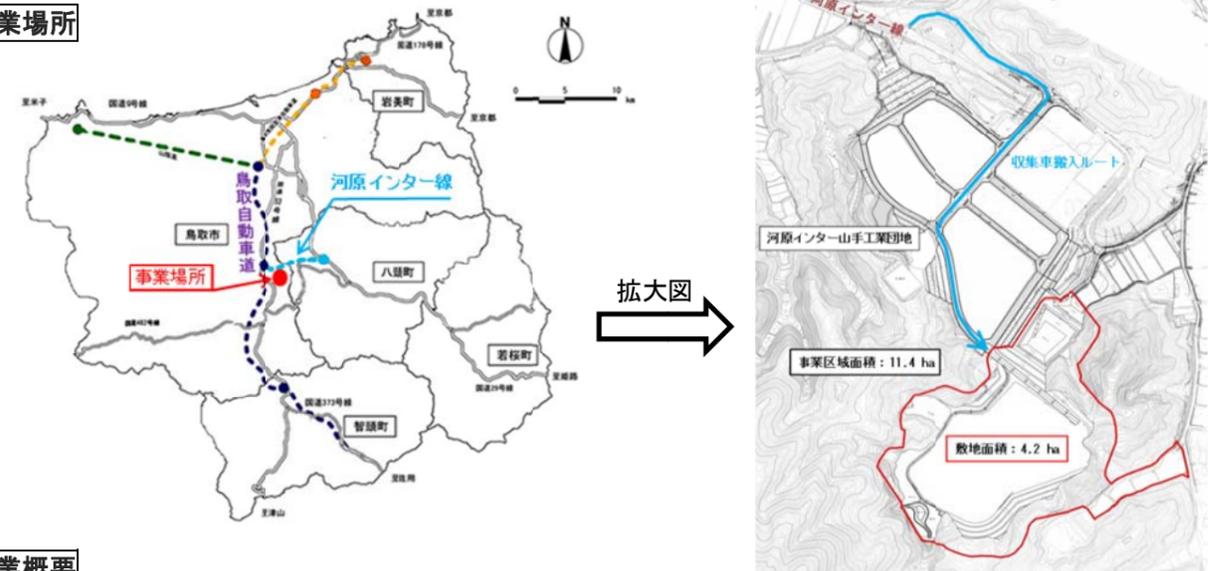
 - 高性能ストーカ炉により、幅広いごみ量・質の変動に対し安定した処理を行います。
 - 大規模地震でも倒壊しない堅牢な構造と、地震による二次災害を防止するプラントシステムを採用し、大規模地震時でも安全な施設とします。
- 3 資源の循環とごみエネルギーの有効利用**

 - ごみを持つエネルギーを徹底して利用する高効率発電システムを採用することで、発電量を最大化します。
 - 焼却灰中の鉄分を回収することで、最終処分場へ排出する焼却灰量を最少化します。
- 4 周辺環境との調和と地域経済への貢献**

 - 豊かな自然と地域に溶け込む施設計画とします。また、環境機能については、ユニバーサルデザインを取り入れた動線により、すべての人が安全・快適に参加体験型の環境学習ができる計画とします。
 - 建設工事、運営管理業務において、組合域内に最大の経済効果をもたらす地元発注を行います。
- 5 経済性・耐用性に優れた施設**

 - 3Dモデルを用いて詳細な施工検討を行うことで、安全で効率的な施工を実施します。
 - ごみ処理施設の運転管理業務に従事した熟練地元人材の活用と代表企業本社の専門部門によるバックアップにより、安全で安定した運転管理を行います。

事業場所

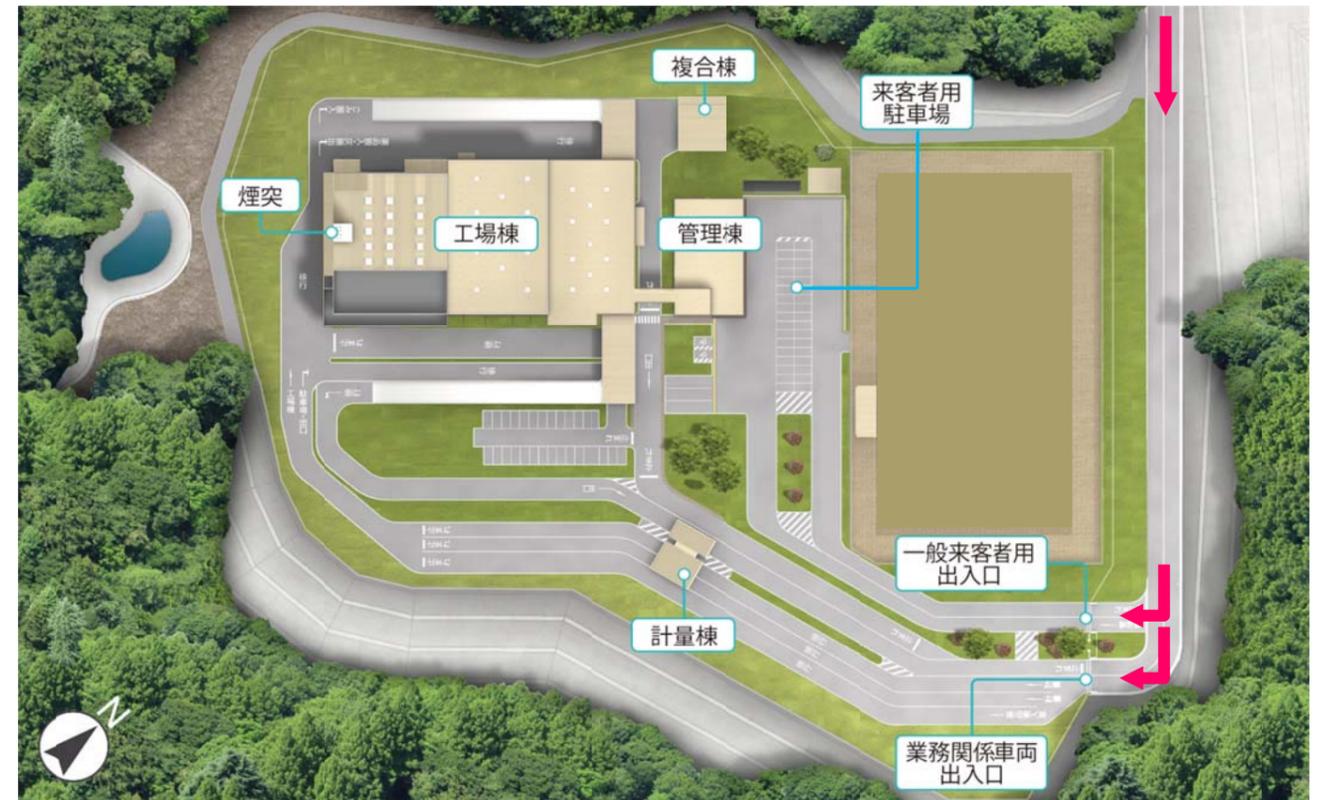


事業概要

- 事業方式 : DBO方式（設計・施工・運営管理（20年間）一括発注方式）
- 事業期間 : 【建設工事期間】建設工事契約締結の日から平成34年7月31日まで
【業務委託期間】平成34年8月1日から平成54年7月31日まで（実運営期間）
- 施設概要 : 【焼却炉形式】 連続運転式ストーカ焼却炉（廃熱ボイラ付き）
【焼却能力】 240t/日（120t/日・炉×2炉）
- 処理対象物 : 収集可燃ごみ、事業系可燃ごみ、直搬可燃ごみ、軽量残渣、し渣、災害ごみ



建築パース

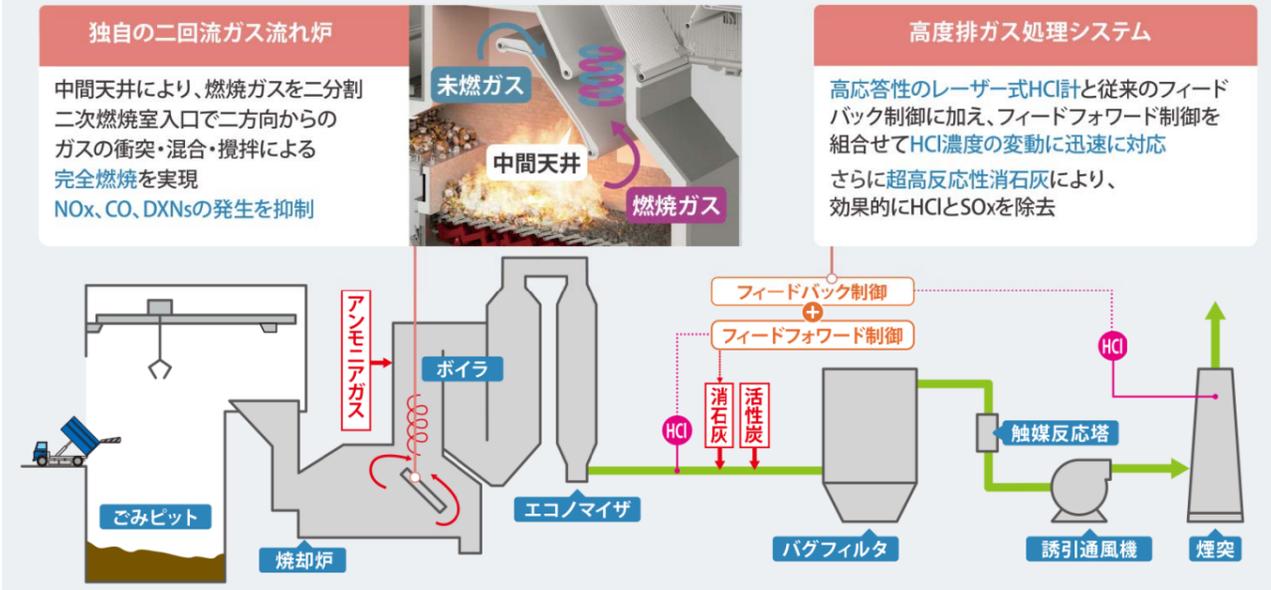


全体配置図

1. 万全の環境保全対策

①公害防止性能に優れた信頼性の高い処理システムによる確実な排ガス対策

50年にわたり蓄積してきた経験と最新技術を駆使した排ガス処理システムを採用し、公害防止性能に優れた信頼性の高い施設を建設することで、排ガス基準値を遵守します。



排ガス基準値遵守を実現する最新の処理システム

②多段階の基準値設定・安定化対策で排ガス要監視基準を遵守

■本施設を運営する上で重要な地元との協定値を遵守するための万全の運転管理を行います。

項目	連続測定項目					定期測定項目	
	ばいじん (g/m ³ N)	塩化水素 (ppm)	硫酸化合物 (ppm)	窒素化合物 (ppm)	一酸化炭素 (ppm)	水銀 (mg/m ³ N)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/m ³ N)
停止基準値	0.01	50	100	100	30	0.03	0.1
要監視基準値	0.01	40	50	50	30	0.03	0.05
自主管理基準2	0.009	38	48	48	28	—	0.03
自主管理基準1	—	35	45	45	25	測定回数: 4回/年 (地元協定: 2回/年)	
運転基準値 (対要監視基準値比)	0.008 (-20%)	30 (-25%)	40 (-20%)	40 (-20%)	20 (-33%)	全項目で20%以上低減	

独自の運転基準

■要監視基準値を超過することがないよう、十分な余裕を持たせた運転基準値にて運転制御を行い、さらに要監視基準値と運転基準値の間に独自の2段階の自主管理基準値（超過アラーム）を設定します。

■いずれかの測定項目が自主管理基準値1を超過した場合は、運転員によって設備点検を含んだ安定化操作を行います。また、自主管理基準値2を超過した場合には、速やかに運転員は本社技術者の支援の下、緊急回避操作を行い、要監視基準値の超過を回避します。

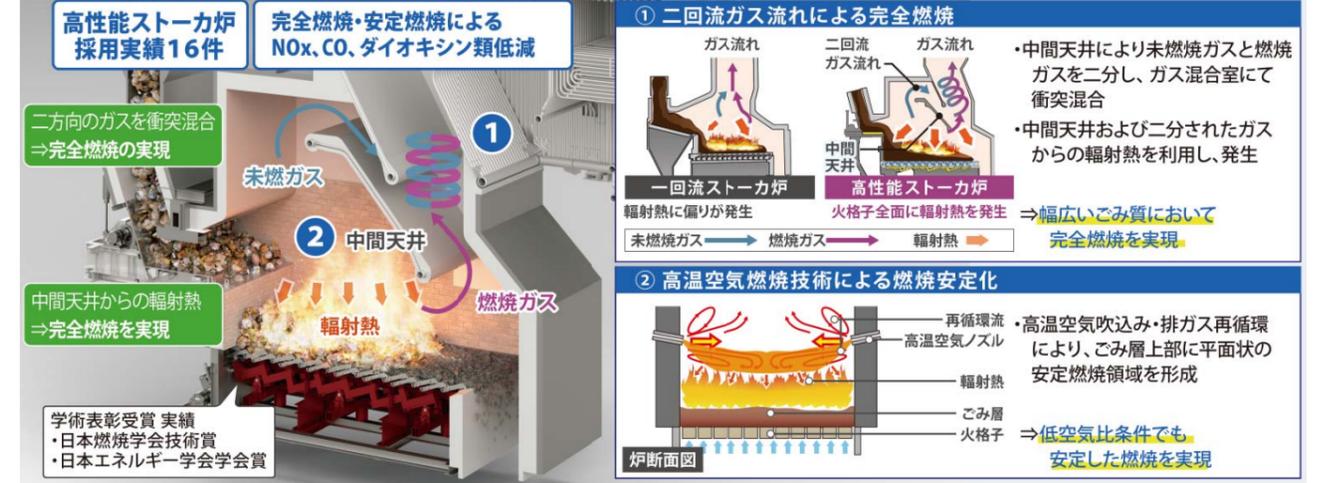


管理基準値運転対応例

2. ごみの安全かつ安定的な処理

①ごみ変動に強い実績豊富な高性能ストーカ炉の採用

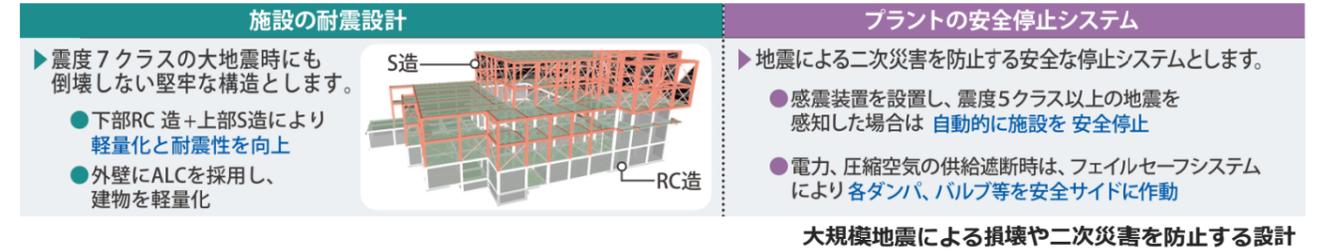
ごみ変動に強い実績豊富な高性能ストーカ炉を採用し、幅広いごみ質およびごみ量の変動に対しても完全燃焼と安定燃焼を実現します。



高性能ストーカ炉の特長

②大規模地震時を想定した強靱な施設計画

震度7クラスの大規模地震でも倒壊しない施設の耐震設計と地震による二次災害を防止するプラント安全停止システムを採用し、大規模地震時でも安全な施設とします。

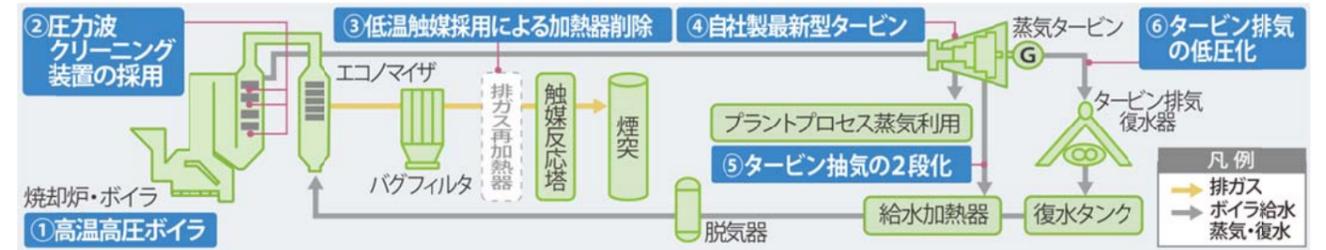


大規模地震による損壊や二次災害を防止する設計

3. 資源の循環とごみエネルギーの有効利用

①ごみエネルギーを徹底して利用する高効率発電システムの採用

最新の高効率発電技術を組み合わせ、ごみ持つエネルギーをできる限り有効利用し、発電量を最大化します。

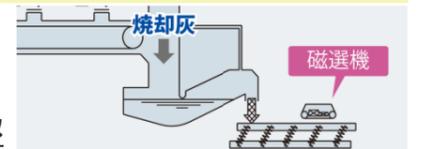


高効率発電技術

②鉄分回収による焼却灰排出量の最小化

焼却灰中の鉄分は磁選機により回収し、最終処分場へ排出する焼却灰量を最小化します。

磁選機による鉄分回収



4. 周辺環境との調和と地域経済への貢献

①工場棟外観デザイン

山並みに溶け込み自然と調和するデザイン、伝統建築様式を取り入れた地域に親しまれる施設、安心感を表現する重厚な和モダンデザインをコンセプトとして、豊かな自然と地域に溶け込む施設計画とします。

- アースカラーを基調色とすることで周辺環境との調和を図るとともに、南北へ傾斜する山並に合わせた建物配置により景観上の変化を軽減した計画とします。
- 管理棟とランプウェイの外壁に伝統建築様式である連子格子をイメージしたルーバーを採用します。
- 工場棟の外壁は、シンプルな和モダンデザインをベースに、工場らしさを和らげる工夫を施すことにより、最新技術を採用した安心・安定なごみ焼却施設としての安心感を表現します。
- 工場棟全周に設置した木調水平ルーバーや連窓により、水平ラインを強調し高さ方向の圧迫感を軽減します。



②管理棟外観デザイン

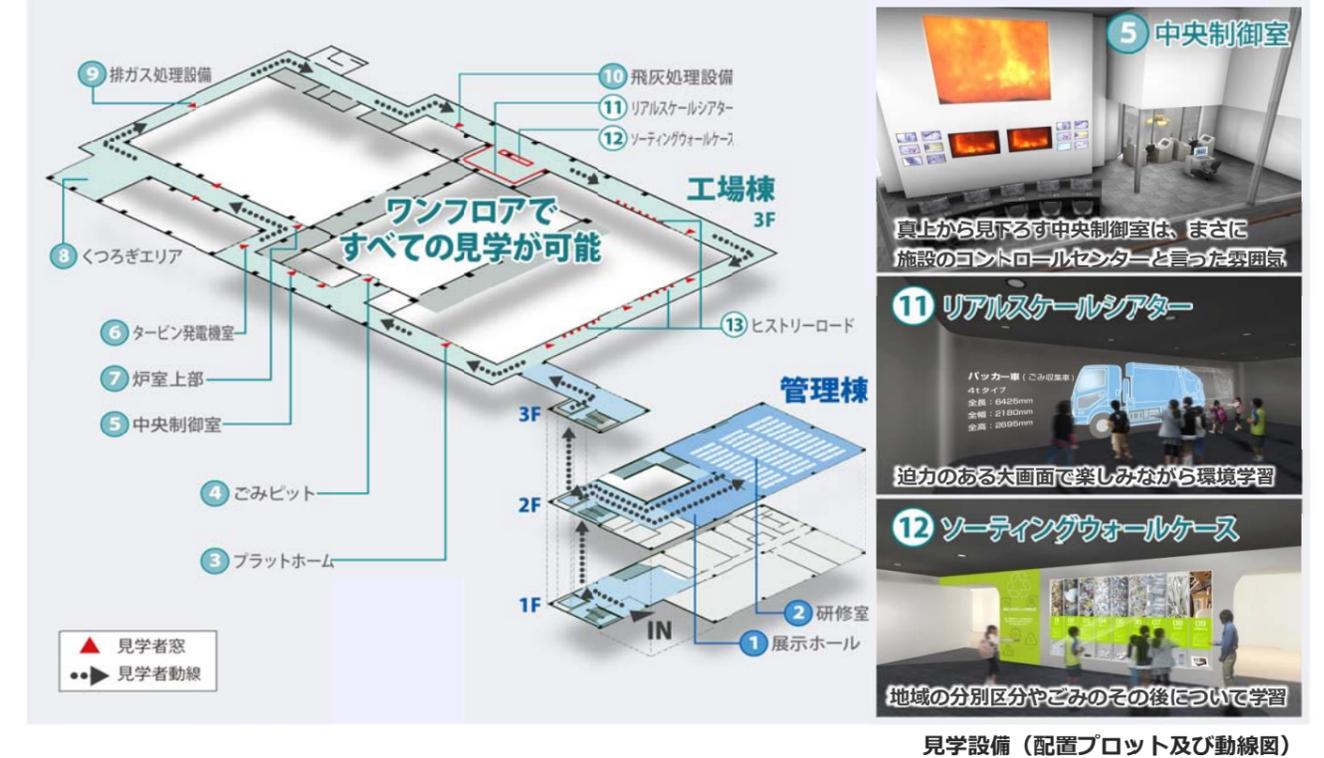
来訪者を迎え入れる管理棟は、以下のような地産材や地元の名所をイメージさせる内装を随所に取り入れ、親しみを感じるデザインとします。

- 外壁1階部分には大型連窓を設置し、室内外が連続する開放感のある玄関ホール・多目的室とします。
- 玄関の天井には鳥取県産の杉材を使用するとともに、遠くからでも見える軒先デザインとします。
- 玄関ホール受付には、鳥取砂丘の風紋をイメージしたデザインパネルを設置します。



③環境学習・啓発機能

見学設備には体験型学習設備を多く取り入れ、主体的な学習を促す計画とします。



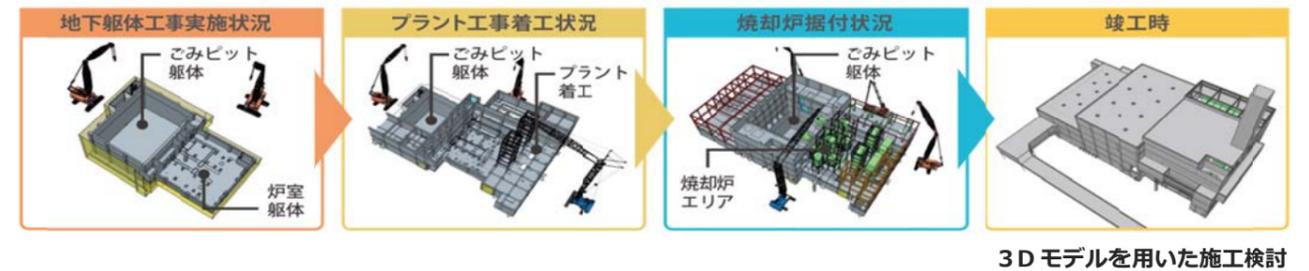
④地域経済への貢献

- 建設工事において積極的に地元企業を活用し、地元貢献を最大化します。
- 運営管理業務において地元雇用率100%実現と地元企業への発注を進めます。

5. 経済性・耐用性に優れた施設

①3Dモデルを用いた詳細検討による効率的な施工の実施

3Dモデルを用いた詳細な施工検討により、精度の高い施工計画を立案・実施します。複雑な工程進捗を「見える化」して詳細に検討することで、安全で効率の良い施工を実施します。



②熟練運転員による安全で安定した運転管理

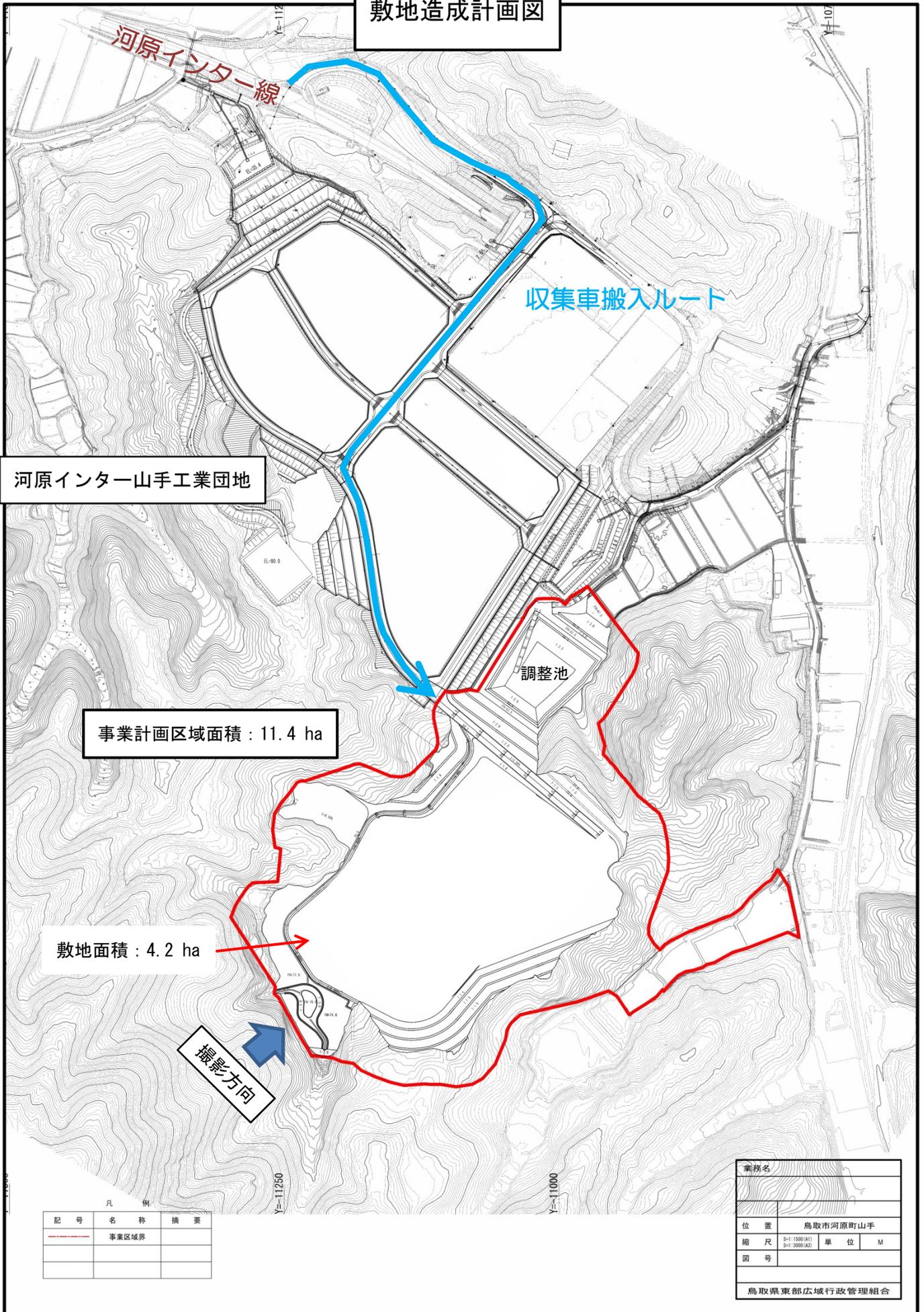
ごみ処理施設の運転管理業務に従事した熟練地元人材を多数配置し、豊富な経験と充実した資格保有者により、安全で安定した運転管理を行います。

また、代表企業本社（リモートサービスセンター）から独自の遠隔支援システムによりリアルタイムでの安定操業支援、迅速なトラブル対応支援を行います。

リモートサービスセンター



敷地造成計画図



河原インター山手工業団地

事業計画区域面積 : 11.4 ha

敷地面積 : 4.2 ha

撮影方向

調整池

凡 例		
記号	名称	摘要
	事業区域界	

業務名			
位置	鳥取市河原町山手		
縮尺	S=1:1500(A1)	単位	M
図号			

造成工事状況写真

H29. 11 月末 (着工前)



H30. 5 月中旬



調整池写真撮影位置



調整池現況写真

H30.5月中旬



全体スケジュール（予定）

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
敷地造成工事		<ul style="list-style-type: none"> ●入札公告（7月31日） ●入札（9月13日） ●議会（契約の議決）（10月20日） ●工事着手 			<ul style="list-style-type: none"> ●工事完成（3月27日） 		
プラント整備・運営事業	事業者選定作業・契約締結 （整備・運営事業者選定委員会）	<ul style="list-style-type: none"> ●事業概要説明書の公表（7月31日） ●入札公告（9月1日） 	<ul style="list-style-type: none"> ●ヒアリング（3月23日） ↓ 技術評価 ●入札（開札）（4月13日） ↓ 価格評価 ●最優秀提案者の選定（4月18日） ↓ 総合評価 ●議会（工事契約議案の上程）（7月上旬） 				
	実施設計・建築確認申請・ 建設工事（試運転含む）		<ul style="list-style-type: none"> ●実施設計開始 	<ul style="list-style-type: none"> ●建築確認申請 	<ul style="list-style-type: none"> ●工事着手 		<ul style="list-style-type: none"> ●試運転（4月頃） ●ごみ全量受入れ（6月頃） ●本稼働（8月1日）
設計監理及び施工監理等業務			<ul style="list-style-type: none"> ●入札公告（6月上旬） ●設計監理業務開始 ●業者決定・契約（7月上旬） 	<ul style="list-style-type: none"> ●施工監理業務開始 			<ul style="list-style-type: none"> ●施工監理業務完了

【河原町総合支所】

21人（3課1室）

【資料 3】

〒 680-1221 鳥取市河原町渡一木277

電話0858-76-3111(代)

H30.5.1現在

FAX 0858-85-0672

＜総合支所＞

支所長	遠藤 全
	76-3111
副支所長	九鬼 栄一
	76-3111

地域振興課	
	5人
課長(兼)	九鬼 栄一
	76-3111
課 員	
課長補佐	平尾真由美
主幹	前嶋 宏人
主任	加藤 香織
主任(再)	長谷 政信
	76-3111

市民福祉課	
	8人
課長	西山 典子
	76-3113
課 員	
主任	田中 幸子
主任	池本 奈緒
保健師	藤原 典子
主任(再短)	山根 輝子
〃	小谷 隆彦
主任(再)	西村 真悟
主事(任短)	吉田美奈子
	76-3113

産業建設課	
	6人
課長	前田 武志
	76-3115
課 員	
主幹	山下 晶
主任	小川 孝
〃	徳田 容子
〃	西田こずえ
〃	西谷 慎也
	76-3115

＜教育委員会＞

河原町分室 (河原歴史民俗資料館)	
	1(2)人
分室長(兼)	九鬼 栄一
	76-3122
室 員	
主任	漆原 朝子

＜経済観光部＞

企業立地・支援課	
河原拠点地域振興センター	
	1(2)人
所長(兼参事)	坂本 茂
	76-3127
所 員	
参与	浅田 義昌

＜都市整備部＞

鳥取南地域工事事務所	
	7人
所長	山根 陽一
	76-3126
所 員	
所長補佐	中島 弘隆
主査	西川 寛章
主幹	米村 典之
〃	竹内 智也
主任	菰 義紀
〃	田中 聡大

＜水道局＞

南地域水道事務所	
	8(9)人
所長	西平 修一
	76-3118
営業所員	
所長補佐	大島 徳明
主幹	霜田 憲孝
〃	石原 崇央
〃	橋村 裕司
主任	前田 和彦
〃	坂川 和哉
技師	南岡 克彦
主任(併)	田中 幸子

＜可燃物処理施設建設河原事務所＞

	1人
東部広域行政管理組合	
調整官	東田 義博
	85-3828

平成30年度 重点・強化施策及び懸案事項

課名	河原町総合支所	課・室長名	支所長 遠藤 全
<p>【最重点・強化施策①】</p> <p>河原町総合支所庁舎耐震化工事</p> <p>・工 事：平成30年9月～平成32年3月（予定）</p> <p>（現況・課題）</p> <p>河原町総合支所本庁舎は、昭和43年建築、耐震性能I S値0.38であったため耐震化が検討された。本庁舎と本庁舎に併設されている第2庁舎を比較検討した結果、本庁舎は解体、平成2年新耐震基準で建築された第2庁舎を増改築し耐震整備することに決定し、平成29年度に実施設計が行われ、平成30年9月頃から耐震化工事の予定である。</p> <p>しかし第2庁舎に併設している昭和53年建築の河原町コミュニティセンターは、施設の老朽化が著しく、併せて耐震基準を満たしていないため、耐震改修整備が急がれるところである。</p> <p>（具体的な取り組み（事業名、予算額等））</p> <p>総合支所の耐震化整備を推進することにより、防災・市民サービスの拠点としての機能を維持する。併せてコミュニティセンターの利用者の安全確保及び満足度向上のために早急な耐震改修と維持管理に係る予算の要望を行なう。</p> <p>○総合支所庁舎耐震化工事については6月補正に計上（財産経営課） 内示額：157,058千円</p>			
<p>【最重点・強化施策②】</p> <p>鳥取市河原町国英地区活性化施設（仮称）整備事業</p> <p>（現況・課題）</p> <p>国英地区は、地区内に体育館を有しておらず、地区球技大会、高齢者スポーツ大会などを千代川左岸側の総合体育館等で実施していた。</p> <p>また、現在の指定緊急避難場所は国英地区公民館だが、大規模災害となると千代川左岸側体育館等に避難せざるを得なくなり、橋を渡っての避難となり大変危険である。</p> <p>（具体的な取り組み（事業名、予算額等））</p> <p>国英地区に屋内運動場や備蓄倉庫を兼ね備えたコミュニティセンターを整備することにより、高齢者の健康増進のためのスポーツ大会や、大規模災害時における安心安全な避難場所が確保される。</p> <p>また、地区内の進出企業であるイナテックとの交流を深めることによりこれまで以上に地区の活性化が図られる。</p> <p>○6月補正に計上（地域振興局地域振興課） 内示額：11,314千円</p>			

【最重点・強化施策③】

いなば西郷むらづくり協議会の「工芸の郷づくり」への取組支援

（現況・課題）

西郷地区には、牛ノ戸焼、因州中井窯、やなせ窯と著名な3つの窯があり、いなば西郷むらづくり協議会は、地域の資源を活用した地域活性化に取り組まれてきた。平成25年、やなせ窯の白磁作家前田昭博さんが人間国宝に認定され、西郷地区を「ものづくりの郷」にしたいと、知事・市長・商工会議所会頭等との懇談で表明、平成28・29年と西郷工芸祭りを開催され、西郷工芸の郷を広く県内外にPRされた。

少子・高齢化が進む西郷地区では、交流人口の拡大や移住定住に取組まれ、平成29年4月には移住者花井健太さん等を迎え取組の成果が徐々に浸透してきている。さらに、湯谷温泉周辺に工芸研修棟・レストラン・福祉介護施設等の「工芸の郷」を構想され、この西郷地区の取組は、鳥取市の移住定住や少子高齢化へのモデルであり、今後も、強力に支援していく必要がある。

○これまでの支援（事業実施主体は一般社団法人西郷工芸の郷あまんじゃく）

- ① H28年度 新たな起業・創業人材移住強化事業補助金
陶芸窯、作業場の整備4,500千円（県、市1/2、事業費9,766千円）
- ② H29年度 新たな起業・創業人材移住強化事業補助金
研修や生活基盤確保への支援1,320千円（120千円/月）（県、市1/2）
- ③ H29年度 若者定住促進モデル事業補助金
北村の診療所跡をシェアハウスに改築1,569千円（県市2/3、事業費2,355千円）

（具体的な取り組み（事業名、予算額等））

- ① H30年度 新たな起業・創業人材移住強化事業補助金
研修や生活基盤確保への支援1,200千円（100千円/月）（県、市1/2）
- ② 新たな移住者の動機づけ等のための文化振興を加えた支援の創設の検討
- ③ 人間国宝前田昭博さんとのコラボによる鳥取市の観光・文化振興の拠点としての「工芸の郷」の実現に向けての検討

【懸案事項】

浸水対策への取組(排水ポンプの設置等)

- ・平成29年は、台風がたてつづけに襲来し河原町内に甚大な被害をもたらした。
- ・河原町内の千代川・八東川に樋門水門が16か所（国管理）、宇戸川に樋門が2か所（県管理）あり、それぞれの管理者から鳥取市に委託され、鳥取市より操作員に委託している。
- ・今回の浸水対策として、緊急排水ポンプや常設の排水ポンプを設置する必要がある。

【現在の状況】

1、下渡一木

- 1) 千代川への放流水路は国管理、大井手川は県管理で、内水対策は、市が排水ポンプ車を国及び県に要請することとしている。
- 2) 河原水門は、昭和54年の台風による水位等を基準に平成元年に設置されてものであり、今回の台風18号の雨は、昭和54年を超えるもので、国も見直す必要があるか、現地の浸水状況を調査し検討している。
- 3) 県は、大井手川は基本的に用水路であり、大規模な河川改修でなく、住民への情報提供（ライブカメラ等）を市を通して行うことで対応される予定。
- 4) 市としては、河川堤防の低い箇所のかさ上げ等を県に要望している。

2、下佐貫

- 1) 常設排水ポンプの設置を前提とする流域調査を実施（都市環境課、予算額4,911千円）

平成30年度地域づくり懇談会・地区座談会について

1 開催目的

市内のすべての地区において「まちづくり協議会」が設立され、地域課題解決のためにさまざまな事業が展開されている中、市民と市長が直接意見交換することで、引き続き対話行政を推進するとともに、「協働のまちづくり」の推進を図り、もって市政の一層の発展を目指す。

2 河原町地域の開催日程

- ① 西郷地区・・・・・・7月10日（火）
- ② 国英地区・・・・・・10月～12月で調整

※地区公民館単位で2年に1度開催

平成30年度からの変更点

3 開催方法（案）

平成30年度から、以下のとおり内容を一部変更する予定です。

○懇談会内容

- ・まちづくり協議会で策定している地域コミュニティ計画に挙げられている目標など、“地域が力を入れていること”“今後地域が実施しようとしていること”についての意見交換

上記を原則とするが、特にない場合は、「防災」「福祉」「教育」等あらかじめ設定したテーマの中から、地域の中で特に重視しているものを選び意見交換

○出席者（地区側）

- ・地域の課題解決に取り組む「自治連合会加入組織」「まちづくり協議会」など各種団体の代表者及び関係者（テーマに直接関わる方、若者や女性など）

○出席者（市側）

- ・市長及び関係部長（テーマに沿う部署）

○進行及び配席

- ・司会進行は地域側が行い、車座で実施

◎地区座談会の日程

河原地区、散岐地区、八上地区・・・・・・6月実施で調整中

河原地域振興会議様_先進地視察候補地①

先進地視察候補先	キーワード	キャッチコピー 地区写真
<p>① 「くもべまちづくり協議会」 「里山工房くもべ」</p> <p>兵庫県篠山市雲部地区 (http://satoyamakobotanbasasayamajp/)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・閉校舎活用 ・コミュニティカフェ ・直売所 ・都市農村交流 ・特産品開発 ・生きがいづくり ・郷土料理 	<p>学び舎を地域コミュニティの中心に</p> 
<p>② 「上久下自治協議会」 「企業組合元気村かみくげ」</p> <p>兵庫県丹波市上久下地区 (http://www.kamikuge.com/)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・退職Uターン者巻き込み ・間伐材利用促進 ・企業組合設立（経済循環） ・特産品開発 ・都市農村交流（恐竜） ・調理室改修（弁当販売） ・弁当販売、買い物支援 ・コミュニティビジネス 	<p>起業組合の設立と住民を支える仕組み</p> 
<p>③ 「長谷地区の振興を考える会」 「株式会社長谷」</p> <p>兵庫県神戸市長谷地区</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・映画ロケ地誘致 ・住民運営スーパー ・住民運営ガソリンスタンド ・送迎サービス ・特産品開発 ・イベント企画 ・合資出資株式会社 	 <p>ふれあいマーケット 平成20年から住民で運営し地域の台所として親しまれて</p> <p>赤田おみくろ会代表 中島 富久代さん</p>

河原地域振興会議様_先進地視察候補地②

先進地視察候補先

キーワード

キャッチコピー 地区写真

④

「やらいや逢坂」

鳥取県大山町逢坂地区
(<http://mabuya.weebly.com/>)

- ・移住定住サテライト
- ・缶詰居酒屋
- ・特産品開発
- ・都市農村交流
- ・温泉朝市
- ・若者参画促進
- ・子どもの遊び場提供
- ・空き家交渉

世代を超えた地域活動の展開



⑤

「あば村運営協議会」

岡山県津山市阿波地区
(<http://abamura.com/>)

- ・住民運営スーパー
- ・住民運営ガソリンスタンド
- ・送迎サービス
- ・特産品開発
- ・お試し住宅
- ・間伐材経済循環
- ・温泉指定管理
- ・除雪支援

地域で経済を回していく仕組みづくり



⑥

「梶並地区活性化推進委員会」

岡山県美作市梶並地区
(<http://kajikatsu.webcrow.jp/committee.html>)

- ・空き家活用、管理
- ・お試し住宅
- ・定住相談窓口
- ・集いの場+食事提供
- ・弁当配食
- ・ミニデイサービス
- ・加工品の販売
- ・見守り活動

住民の集いの場と空き家活用の模索

